

## (別紙)

様式第1号(第5条関係)

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成30年度第2回美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会
開 催 日 時	平成30年7月24日(火) 14時00分 開会 15時33分 閉会
開 催 場 所	議会議事棟 第1・2議員控室
出 席 者 氏 名	【推進委員】 山野寺委員、小寺委員、横山委員、信太委員、川上委員、 村田委員、水島委員、 【オブザーバー】 オホーツク総合振興局地域創生部地域政策課 谷主査、玉利主任
欠 席 者 氏 名	田村委員、青砥委員、土門委員
事務局職員職氏名	広島総務部長、伊藤政策担当主査、長尾政策担当
議 題	1 開会 2 美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について 3 基本戦略ごとの数値目標・KPIについて 4 その他 5 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	—
会 議 資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美幌版総合戦略の効果検証方法等について</li> <li>・美幌版総合戦略 事業一覧</li> <li>・平成30年度 美幌版総合戦略に係るH29事業実施結果報告</li> <li>・まち・ひと・しごと総合戦略 数値目標・KPI</li> </ul>
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>それでは、皆さんお疲れでございます。定刻5分前でございますけど、出席者全員揃いましたので、ただ今より平成30年度第2回目の美幌町まち・ひと・しごと創生推進委員会を開催させていただきます。</p> <p>なお、本日、欠席のご連絡をいただいているのは、田村委員、土門委員、青砥委員の3名が一応欠席という連絡をいただいております。</p> <p>また本日は、非常に気温も高く暑い時期を迎えて来ておりますので、どうぞごつくばらんにごきょうろに今日また皆さんから色々ご意見を賜りたいと思っておりますので、暑い中ではありますが、上着を脱ぎながら会議を進めさせていただきたいと思っておりますので、本日はよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、早速次第に入りたいと思っておりますが、その前に事前配布させていただきました資料、今日全員持参していただいているということですのでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは次第の2番目でございます「美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について」ということでございます。この関係につきまして、後程、事務局から説明をいただきますが、その前に29年度の評価ということで非常に検証していただく効果が多々ございますので、次回という形と2回に分けてやらせていただきたいと思いますと思っております。出来ましたら今日は、基本戦略3No.9の「エンゼルサポート120事業」ここまで順調に行ければ良いかなと思っておりますので、皆さんのご協力、よろしくお願ひいたします。それでは、一通りまず事務局の方から説明をよろしくお願ひいたします。上着、脱いでいただいて結構だと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p><b>次第2</b> <b>美幌版総合戦略に基づく事業効果検証について</b></p>
長尾政策担当	<p>それでは、早速ではございますが、平成29年度事業の効果検証について説明をさせていただきます。</p> <p>新しい委員の方もおりますので、簡単にお話をさせていただきます。まず、事前にお配りしております書類番号2こちらと後A3の資料をご覧ください。まずA3の資料の中で①の事業名称から⑩の今後についてということで、こちらはそれぞれの担当部署で記載されたものです。推進委員の皆さまには、⑨欄の「外部有識者からの評価」こちらをしていただくこととなります。評価方法なのですが、事前にお渡ししている書類番号1、A4版の「美幌版総合戦略の効果検証方法等について」の1の(3)にあるように、まず、⑨欄の左側の「事業の評価」、こちらは3択から選んでいただくことになっております。この選択項目は、⑤欄の担当部署が自己評価した内容と同じ項目になっております。まずは私の方で実績や評価理由、実績値の内容などについて、簡単に説明いたしますので、それについてご意見やご質問をいただき、担当部署が評価したものに意義がないかどうか、委員会として1つの結論を出していただき、更にもうその上で意見や提案、改善点などがあれば、⑨欄の「外部有識者からの意見」としてまとめて行きます。流れとしましては、こちらA3資料の1つの事業ずつ説明をして行きますので、その都度、委員の皆さまから意見をいただくという進め方をして行きます。この様に、委員の皆さまからの審査をいただいて、担当部署に伝えて行き、少しずつ良いものをして行きたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>では、検証に入って参ります。まずこちらのA3資料をご覧ください。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>基本戦略の1番目、「新規就農者確保・育成等支援事業」ですけど、昨年も説明しました通り、こちらについては、最初は1つの大きな事業としていたものを、評価や指標が分かりづらいということから、「農業経営者育成事業」「農家青年配偶者対策事業」「農業振興事業」の3つに分けております。そのため、No.1が3つとなっております。</p> <p>まず一番上の、「<b>農業経営者育成事業</b>」についてですが、こちらは新規就農者や農業後継者の育成や技術力向上を目的とした事業となっております。②欄平成29年度実績額、約5,053,000円、指標は2つ設定しております。②欄平成29年度実績額、約5,053,000円、指標は2つ設定しております。新規就農研修生1戸1名、2つ目が、冬期農業講座受講者数50名となっております。⑤欄平成29年の実績として①については1名1戸、②につきましては45名ということで事業効果、担当では、指標値を下回ったものの事業効果があったとしております。⑥欄、下回ったものの効果があったと見込める評価理由ですけど、①につきましては、経営継承方式による新規就農は、離農する農家の跡地に入ることによって、29年度は研修生1名が研修3年目を計画通りに実施しております。②につきましては、冬期農業講座は講座内容の充実化が図られたことにより昨年の64名から45名となりましたが、概ね指標値に達したことから事業効果は高いとしております。実績値が指標値を下回った理由としては、受講対象農家子弟が前年より少なかったことによるものであるとしております。続きまして⑩欄、今後の方針ですが、事業の継続、その理由として、農業の担い手確保、人材育成を更に強化する」してしております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>まず、今説明いただきました部分で部局の評価が⑤にありますように新規就農研修生は目標値と同額であり、ただ受講者数が50名のところが45名であったということで、数字は下回りましたが事業効果があったという一応判断で、理由につきましても⑥にあった通りですが、皆さんの方から何かご意見等がありましたら、はい、村田委員どうぞ。</p>
村田委員	<p>まず、予算額の方ですけど、H29で500万のやつが、30年度が内容余り変わらないというか、人数が増えているのに、何で一桁違うような額になっているのかということと、それと、⑥の理由の所で、受講対象農家が少なかったということですけど、30年度は今度、そうしたら100名対象者が居ることでしょうか。その2点教えてください。</p>
広島総務部長	<p>まず1点目の、平成30年度の予算額については、おそらく、ここで言う新規の研修生、これが居なくなるということでございます。先程も説明しましたが、経営継承方式をとっているもので、機械も畑も家もそっくり渡しますという所に研修生を入れるという形をとっていますので、そういうものが現れていないということ、1人研修生が居たんですけども、今年就農して、それからまた調整に入ることによって、おそらく今度は、31年度に研修生を受け入れるという形になるかということ、(2)の各種研修等報酬これしかお金が掛からないということで295,000円の予算になっているということであろうかと思っております。</p> <p>もう1つの冬期農業講座の受講者数100名につきましては、総体的には受講対象者は減っていないと思います。農家全戸対象としておりますので、受講対象者についてはそれ程減ってはいないと思いますけど、その冬期間にやる農業講座のカリキュラムによって、相当出て来る人が変わ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>って来るということで、このカリキュラムを考えながら受講生を100名までということで、同じ人が何講座もやるので、それを述べて100名に持って行こうということで、指標については100名という形で設定をしたものでございます。</p>
横山会長	<p>よろしいですか。</p>
村田委員	<p>そうしたら30年度の指標①の1戸と書いてあるのは、これはどういう風に捉えたら。</p>
広島総務部長	<p>多分、指標としては「1戸入れれば良いね」ということだと思うのですが、現実的に予算的にも29年度で1人就農させた後、4月から受入体制は取れないということで、予算措置もしなかったということだと思います。1戸については、これ何で1戸になっているのかな。</p>
長尾政策担当	<p>今現在、受け付け中ではあるみたいです。</p>
広島総務部長	<p>なるほど。カリキュラムから行くと、年度の途中で入って来るというのは余り無いので、4月からの受け入れという体制をとっているので、今年の4月の段階で居なければ実績としては0になると思いますけど。</p>
横山会長	<p>よろしいですか。</p>
	<p>多分、数字を立てたのが4月以前に立てた数字なので結果的に4月の締め切りの段階では対象者が居なかったということで、今部長が説明された30年度は、そういう方がいらっしやらないということですね。</p>
	<p>今は30年度の関係ですけど、29年度の評価の関係につきましてもはどうでしょうか。よろしいですか。⑨の外部評価につきましても、部局で評価したという形の考え方でよろしいでしょうか。</p>
	<p>そうしたら、イコールということできさせていただきたいと思います。次お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きましてその下、「<b>農家青年配偶者対策事業</b>」。こちらは、みらい農業センターでは、農業に興味を持った女性実習生を積極的に受け入れしてございまして、「農業体験を通じた農家青年との交流の場を自然な形で設定し、農家青年の成婚率向上を図る」ということで、実施内容となっております。29年度の実績額としましては、約9,796,000円、指標が農業体験実習性3名としております。これに対して29年度の実績値は3名。効果としましては、指標値を達成し事業効果があったということになっております。評価理由につきましては、実習生3名を受け入れし、農業センターでの実習に加えて農家宅での農家実習も実施してございまして。交際には発展してはおりませんが、交流の場を設定することが出来ました。平成27年度には、実習生のうち1名が、実習中に親交のあった農家青年との交際に発展し、平成29年度に成婚に至ったということから事業効果は高いとしております。今後の方針につきましては、事業の継続、その理由につきましても、農家青年との交流の機会を設定し、成婚率向上を図るとしてはおります。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい。何かご意見等ございませんでしょうか。</p>
	<p>結婚された方というのは、27年度の体験実習生が29年度に結婚された</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
山野寺委員	<p>ということですよ。現実にこの29年度の3名についても進行形はまだということですよ。</p> <p>何かご意見ございますか。山野寺室長、これに関連して何かJAさん絡みで何かありますか。</p> <p>こちらは町で企画していただいていますけど、農協も同じように青年部と農協とそれぞれ計画して同じような事業をしているのですが、ここに書いてある通り成婚に至るまで、色々な事業をやったと思うので、引き続きやっ行ってこうかと思っています。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご意見が無ければ、⑤同様に指標値を達成し事業効果があったという風な形で⑨にさせてよろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。では、次お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、「<b>農業振興事業</b>」でございます。こちらは、独自性と有益性を兼ね備えた新規作物や新たな栽培技術を地域へ提案、普及するべく各種試験栽培に取り組み、研究・調査を実施しております。現在は主に「伏せ込みアスパラガス栽培」ということで、いわゆる「冬姫」と呼ばれる冬期出荷されるアスパラの栽培に取り組んでおります。生産者戸数増加に向けた普及推進を図っておりますといった事業です。29年度の実績額としまして、約10,338,000円、指標としまして、伏せこみアスパラガス栽培戸数が7戸、これに対して実績値も7戸ということ、効果としましては達成し、事業効果があったとしております。評価理由につきましては、日本唯一の11月初旬出荷のアスパラガス冬期栽培は、希少価値が高く、破格の価格で流通しております。7戸というのは少ないと感じますが、道内最多戸数であります。その事業効果は高いということで、この評価になっております。今後の方針としましては、事業の継続、その理由として、更なるブランド力向上を下支えするという事になっております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。何か委員の皆さんからご意見等ございませんでしょうか。</p> <p>29年度の実績と関係ないのですが、30年度が7戸だったのが5戸に2戸減になっています。2戸減というのは。</p>
長尾政策担当	<p>はい。やめたと聞いています。</p>
横山会長	<p>やめたのですか。室長、そうなのですか。</p>
山野寺委員	<p>農家個々の事情と聞いているので、取り組み自体がという部分ではないかと思えます。</p>
横山会長	<p>そうですか。残念ですね。何かご意見、他よろしいですか。</p> <p>それでは、⑨の外部評価につきましても、⑤同様に効果があったということで①とさせていただきたいと思えます。次お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>地域しごと支援事業</b>」。事業内容は、経営継承出来る農家子弟と農外から新規参入する新規就農者に対し、補助金等の支援を行</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>っております。29年度の実績額としまして、約9,002,000円、指標は、新規就農者数、新規農業従事者数こちらの合わせた数字が3人となっております。これに対する29年度の実績値が8人となっております。指標値は達成し、事業効果があったということになっております。評価理由につきましては、就農支援を行うことにより農業後継者を確保することが出来たということになっております。今後の方針につきましては、事業の継続、その理由として、新規就農者や新規農業従事者等を確保することで、本町の農業の持続的な発展を図るということになっております。以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ありましたら。よろしいですか。</p> <p>ありがとうございます。それでは外部評価につきましても、同様に①事業効果があったという評価をさせていただきたいと思っております。次3お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>森林認証材活用促進事業</b>」です。こちらは、美幌町はF S C森林認証を取得しているのですが、これの付加価値促進を図るため、森林認証材買い取時に上乗せを行い、認証の普及促進を図るという内容でございます。29年度の実績額は、約726,000円、指標は、認証材の生産量を設定しております、5,800m<sup>3</sup>となっております。これに対して実績値は1,687m<sup>3</sup>、効果としまして指標値を下回ったものの事業効果があったということになっております。こちらは昨年と同様、住宅供給のため計画的及び使用量調整を行い、算出したため、指標値を下回ったものでございます。今後の方針としましては、事業の継続、その理由として、こちらからも上乗せを行い、森林認証の普及促進を図って行きますということですので。以上です。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。ただ今の説明の部分であります。何かご意見等ございますか。</p> <p>川上支店長、新築戸数が減ったという部分で、ニーズ的に段々美幌町も無くなって来たという金融機関からの目で見ると、どういう風に判断されますか。</p>
川上委員	<p>新築棟数は、確実に減っている中で、認証材のPRというのは、それは逆に、どのようにされていますか。すみません。</p>
広島総務部長	<p>新築住宅については、どちらかと言うと、その下の「美幌町産材活用促進事業」これが住宅を新築する時に町産材を活用した時の補助金であります。今説明したものについては、F S Cの認証材が森林組合を通して売買されるという時に、残念ながらF S Cの認証を受けた、手間の掛かった森林ですけども、これが、市場価値がまだ追い付いていないと言いますか、一般の材と同じ価格で取り引きされるということがあって、それだと手間を掛けてF S C認証材を作る、守っていただける人が減って来るということで、こうやって補助制度を作ってやっているということです。これらをきちっと管理しながら、F S C認証材というのは世界的基準のものでございますので、F S CとS G E Cというのがある、F S Cではない方が国内認証、F S Cが国際認証なので、こちらは国際認証を受けているのですが、これをきちっと守って行きますように、守りな</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>がら付加価値を付けて行って市場価格を作って行きましょうというために、それまでの間作っているのが今の制度でございます。取引価格に上乘せをしますよと。その材を使って家を新築住宅した場合については、㎡あたりいくらの補助を出します。高い材の形になるのということと新築住宅に使っていただきたいと2本立てでF S Cの認証材を守って行こうという取り組みをしているところでございます。出たやつと、もう1つはCoCの認証を受けた所しかF S Cの認証材が扱えない。それで行けばうちの工務店でCoCの認証を受けた工務店でないと、新築住宅としてとしてこの材は使えないということになっておりますので、そういうことをやって行けば、地元の工務店を使っただけだと。それが地元のお金として還元をして行くということもあって、今取り進めをしているところです。</p> <p>大手ハウスメーカーとか来て建っているじゃないですか。それと差別化をさせるために、美幌の工務店でF S C認証材を扱ってという意味なことをやっている。ですから、町も当然のごとくPRしていただいている部分で住宅ローンとか金融機関としても、そういう部分で美幌の業者でやれば割り増しがありますよとか、その辺のお互いに紹介だとか色々な形をしていただければ若干もうちょっとこの数字も上がるのではないかと思いますので、引き続き、支店長の方にはその辺のPRも重ねて、よろしく願いいたします。</p> <p>何かご意見、他ございますか。無いようですので、確かに数字的には下回っていますが、効果は間違いなくありますので、数値は下回りましたが、事業効果があったという形で⑨の外部評価は②にさせていただきたいと思っております。関連しましたので、次4番お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、「<b>美幌町産材活用促進事業</b>」。先程部長から説明ありました通り、こちらでもF S C森林認証材の利用促進が目的となっております、町内住宅に認証材を使用した場合、補助するものとなっております。実績額としましては、6,880,000円、指標は、2つありまして、建築住宅戸数20棟と森林認証材使用量400㎡となっております、29年度の実績値につきましては、住宅戸数が7棟、認証材使用量が173㎡ということで、指標値を下回ったものの事業効果があったとしております。評価理由につきましては、美幌町全体の住宅建築戸数が減少していますが、美幌町内で建築された森林認証材使用戸数は55%と半数を超えており、事業効果はありましたとしております。今後の方針ですが、F S C森林認証材の利用促進、町内住宅の良質な住環境整備、こちらを発展させるということで、事業の継続としております。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>先程と関連しますので、部局では数字的には建築戸数につきましては、下回っていましたが、効果があったということでございますので、外部評価につきましても同様な形で評価してよろしいでしょうか。</p> <p>はい。ありがとうございます。②ということでよろしく願いします。それでは、5番目お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続いて、「<b>森林認証材ブランド化推進事業</b>」ということで、こちらはF S C森林認証材を使用したコアドライ製品、F S C認証材の販路開拓及び町内外へ普及・PR、また、F S C森林認証材を使用した新製品の</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>開発を行うという内容になっております。こちらの実績額としましては、1,000,000円、指標としましては、新開発製品の10品としております。こちらに対して実績値も10品ということで、指標値を達成しております。こちらの評価理由につきましては、新製品の開発により、他分野で認証材のPRに貢献出来たとしております。今後の方針につきましては、新製品のPR活動を町内外で普及促進を図ったということで、事業の継続としております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。何かご意見等ございませんか。はい、村田委員どうぞ。</p>
村田委員	<p>またこれも30年度見たら、ちょっと思ったのですが、29年までで新規の開発製品は終わって、30年度以降は製品の開発はしないでPRだけをやっていくという方針ということで良いのでしょうか。</p>
広島総務部長	<p>はい、これ先程もちょっと説明をしましたが、FSC材を何かの製品にするのにも、CoCの認証を受けていないとおもちゃを作ったりも出来ない。今、町内で木工屋さん、家具屋さん含めてCoCを取得しているのが町内で2件あり、この2件の製品開発が29年度で終了したと。28年度、29年度でそれぞれ2社について製品開発をしていただきたいということで、お願いが終わって開発がそれぞれの会社で出来るものの開発が2年で終わったので30年度からはそれらの開発された、ここで言えば「おもちゃ」ですとか、「椅子」だとか、そういった物について今度はこの製品をPRして行きましょうという形でPR推進費に振替えたというところでございます。</p>
横山会長	<p>村田委員、よろしいですか。 ちなみに、新規開発商品ですけど、これらは、現状は今、どこにどのような形でというのは。</p>
広島総務部長	<p>多分、ぽっぽ屋にもいくらか置いてあるのでは。</p>
横山会長	<p>「きてらす」にもあるのですか。</p>
広島総務部長	<p>「きてらす」にもありますよね。後は、これらも全部そうです。そういった意味で行けば、作ってはみたのですが、売るための努力はされていないというのがあって、それを30年度から、こういう物を作って製品化されていますというPRをして行きましょうということで、今この予算を組んだのですが、このPR方法については、森林担当でやっているものですから、どういう形でやっているのか分からないですけど、ふるさと納税の返礼品にも使ったり、そういった形でどんどん使っていくような形のPRを今進めているというところです。展示品は、「きてらす」に子どものおもちゃとかは置いてあると思うのですが、「おいで家具」で作った椅子はネットで出ているとは思いますが、PR方法も検討しながら積極的にPRして行く手法を見つけなくてはいけないと思っています。</p>
横山会長	<p>ご意見ございませんか。 それでは、外部評価につきましては、⑤同様に達成したということで、</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p>事業効果があったとさせていただきたいと思えます。ありがとうございます。次、2枚目になります6番目、お願いいたします。</p> <p>続いて、「<b>はじめての木づかい事業</b>」ということで、事業内容は、1歳を迎えるお子さんを対象に美幌町産F S C森林認証材を使用した木製品をプレゼントするというになっております。実績額は、583,200円、指標としまして、木製品贈呈数140人、これに対して29年度の実績値は108人となっており、指標値を下回ったものの事業効果があったとなっております。こちらの評価理由としましては、対象となる1歳児の減少により指標値を下回ってはいますが、対象者に変喜ばれ、好評を得ているため事業効果は高いという評価になっております。今後の方針につきましては、本事業を通して木育活動を推進し認証材で作られた木製品を発展させるということで、事業の継続を方針としております。こちらですけど、平成30年度は⑦の内訳にあるものプラス、木琴や積み木のシーソーを開発しております。そして、③の指標、30年度の木製品贈呈数ですけど、30年度は新1年生の子どもを対象ということで、事業の拡大を図っているのですけど、30年度の指標でその分が入っていなかったと前回の会議において指摘がありましたので、平成30年度の指標値270となっているのですけど、前回説明をした時、120となっていましたので、270に修正しておりますので、こちらについて説明をさせていただきます。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ございますか。はい、村田委員さん。</p>
村田委員	<p>それであれば、事業内容のところも変えなくてはならないと思うのですけど。</p>
長尾政策担当	<p>こちらは、29年度の事業内容となっておりますので、30年度から拡大しておりますので、この事業内容となっております。</p>
村田委員	<p>そういうことですか。 それと気になったのが、前からそうだけ指標値と実績値の関係で、人がそれしか居ないのだから指標値を達成仕様がなくて、108人しか1歳児がないのだから、そういう時に、それを下回ったって言うのかどうか。</p>
横山会長	<p>確かにそうですよね。対象者が108人で、108人全員に行っているのですよね。だから、評価の言葉回しですよね。</p>
広島総務部長	<p>設定した指標が140人で、指標と実績を比べればやっぱり下回っているという評価にしかならないでしょうけども、実質的には事業の目的としては充分達成をしているので、指標は下回ったけども事業の目標としては達成をしているという評価をしているのだと思います。あげたくても140人いませんでしたからね。108人しかいなかったから。</p>
横山会長	<p>そういうことですよ。 いずれにしても、今後の課題としては評価の言葉回しの検討を、今言われた部分で確実に100%は100%なので、十二分にも達成している</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>けど、当初の指標値が余りにも多かったという部分がありますので、中身によっては当然の部分もあるけど、これは特に100%も達成されているので、下回ったではなくて、効果があったで良いと思うのですが、その辺の言葉の変えというか、何かあっても良いのかなという気がしないでもないのですけどね。</p> <p>ただ、民生関係にも出て来るかもしれないのですが、元々、この総合戦略の中の出生率が高めの設定をされている。国の指導もあって、うちで行けば1.7の設定をしていて、これは下方修正出来ないと言われたので、下方修正しない。ただ、この人数から追って行くと140になる。それで140という指標を出すのですが、実際は、例えば、今年、30年中に産まれる子どもたちで行けば、指標としては、百何十名になるのですが、実際は百名を切るくらいの出生しかないということで行けば、ずっと多分この差って出て来るのかなという感じがするのですが、その辺、やるのだとしたら、元々の出生率を変えないと難しいのかもしれないので検討してみます。</p>
横山会長	<p>すみません。ありがとうございます。</p> <p>それでは、一応、数字的にはそういう風な形になっておりますので、外部評価につきましても、部局同様に下回っていますが事業効果があったとさせていただきたいと思います。次、お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>林業館管理事業</b>」ということで、こちらは「きてらす」の維持管理を行うという内容です。実績額が約3,603,000円、指標値は来館者数26,000人を設定しております。これに対して実績値は23,805人ということで、指標値を下回ったものの事業効果があったという評価をしております。こちらの理由につきましては、オープンから2年半が経過し、利用者数に落ち着きは見られてはいますが、依然町外からの利用者も多く、改修効果は出ているということになっております。今後の方針についてですが、より安心安全な木育広場を提供出来るように更に維持管理を発展させるということで、事業の継続としております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。</p> <p>信太局長の方から何かPR更に付け加えることがありましたら。</p>
信太委員	<p>観光物産協会で指定管理させていただいております。業者さんと接する機会が多いのですが、29年4月に網走のてんとらんどに、ころころ広場が出来たということで、「きてらす」が出来た時はかなり珍しい施設で注目もされておりましたが、来年には津別の木材工芸館がリニューアルしてオープンということで、珍しくなくなって来ている。良いことですが、お母さんが子どもを連れて遊べる施設が増えるということで、「きてらす」は狭いながらも安心安全で事故無くやらせてもらっているところですが、今後指標を設定する中で近隣の似た施設の利用度も勘案しながら定めて行かないといけないかなと思います。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>今、本当に信太局長が言われた、まさにその通りで、個人的な話ですけど、自分の子どもも今回網走に転勤して、やっぱり信太局長が言った</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
<p>広島総務部長</p> <p>横山会長</p>	<p>「てんとらんど」に、孫と一緒にいくと、美幌の人が結構来ている。まさにその通りです。ですから、そういう経過もあり、これだけ減少しているのではないかと常に感じているところです。</p> <p>そこは、ちなみに有料ですか。</p>
<p>横山会長</p>	<p>無料です。屋内もあり屋外もあって、屋内を今回リニューアルして、オープンしたが、素晴らしい。だから、どっちかという今まで「きてらす」的には、走ったら駄目とか、小さい子が対象だったのだけど、自分の孫も大きくなって、「きてらす」へ行かなくなったり、そしたら今度、「てんとらんど」の方に行けば、走って、騒いで、何をしてもOKみたいな感じなので、そっちの方へ行くというパターンですよ。</p>
<p>広島総務部長</p>	<p>広域的に見れば、それはそれで良いことだと思うのですがね。うちは、お母さんと子ども、安心して遊べるので、木に触れていただける場所をとということを考えていたので、思ったより町外の方の利用が多かったということなので、もっともっと地元のお父さんお母さんと子どもたちが安心して時間を潰せる場所ということで作ったので、また戻って来ていただけたと思いますけど。</p>
<p>横山会長</p>	<p>それでは外部評価につきましては、部局同様に今後増えるということをご期待させていただきながら下回っていましたが、事業効果があったという風にさせていただきたいと思います。次、お願いいたします。</p>
<p>長尾政策担当</p>	<p>はい。「<b>観光振興事業</b>」についてです。こちらは、観光入込客数の更なる増加のため、各関係団体との連携を図り、更なる情報発信を図るといった内容でございます。実績額は、約4,373,000円、指標は、観光入込客数として810,000人、これに対して29年度の実績値が、726,000人ということで、指標値を下回ったものの事業効果があったとしております。理由につきましては、指標を下回っておりますが、美幌峠レストハウス2階の改修を実施し、今後の観光客の満足度向上が期待されており、また、美幌町観光まちづくり協議会が設立され、新たな展開が予定されていることや、屈斜路外輪山トレイルルートの開発も検証段階に入ったことなど新たな取り組みが進められており、入込客数の増加につながる見込みがあります。今後の方針ですが、事業内容を見直し安定させるということで改修した美幌峠レストハウス2階を有効に活用するとともに、各種団体と連携し、事業を展開していくということでこちらの方針となっております。以上でございます。</p>
<p>横山会長</p>	<p>はい。何かご意見等ございますか。</p> <p>無い様ですので、外部評価につきましても、部局同様に下回りましたが事業効果があったとさせていただきたいと思います。次お願いします。</p>
<p>長尾政策担当</p>	<p>では、「<b>空港交通利便性向上事業</b>」についてです。こちらは、女満別空港発の美幌駅経由美幌峠行きバスについて、継続運行を図るとともに利用促進に向けて情報発信に努めるといった事業内容でございます。実績額が、756,000円、指標が利用者400人と設定してございまして、これに対して実績値は341人となっております。効果としては指標値を下回っ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>たものの事業効果があったとしております。こちらにつきましては、目標値の達成は出来なかったものの、観光シーズンに美幌峠へ向かう観光客の足を確保出来たということで、一定の効果があったというようなことを評価しています。今後の方針についてですけど、関係機関と協議し、事業の継続ということで、たくさんの方が利用しやすくなるよう検討して参ります。これについてですけども、こちらは29年度で終了予定の事業となっていたのですけれども、阿寒バスと協議をして依頼がありましたので、事業を継続した形になっております。そのため、30年度の予算額0円だったのですけど、予算額として600,000円としております。以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございます。何のご意見ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、外部評価につきましても、部局同様の、数字的には下回りますが事業効果があったとさせていただきたいと思います。11番目、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>はい。「<b>まちのセールスマン事業</b>」ということで、美幌町の景観や公共施設、特産品などを掲載したミニPR紙を作成し、美幌町民が町外・道外で名刺等を配る際に活用してもらい、町全体で美幌町のPRを図るといった事業でございます。実績額としましては約340,000円、指標値として町民配布枚数20,000枚ということで設定し、実績値としては、4,194枚となっております。指標値を下回ったものの事業効果があったということになっております。下回った理由としましては、団体等からの配布枚数と個人の利用者数が減っているということですが、昨年から引き続き利用している方や新規申し込みされた方もいるので、事業効果は出ていると評価しております。今後の方針については、事業の継続、これからも新聞や広報、HP等による町民への事業周知を行い、多くの町民に利用してもらおうとしております。以上です。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。支店長、これ知っていましたか、この名刺。</p>
川上委員	<p>いいえ。知りませんでした。</p>
横山会長	<p>はい。多分、時期的に支店長みたいに4月に転勤されるという部署があるので、そういう委員会も含めて、そういうところには積極的に来るのではなくて役場さんの方から持って行く、そういう風な活動で、一応、挨拶回りだとか当然されますので、そういう時でも使っていただけるよう、そういう仕組みを今後考えていただければ良いかなと思います。何かご意見等ございますか。はい、村田委員。</p>
村田委員	<p>⑧の名刺作成枚数ですけど、90,000なのか9,000なのか</p>
長尾政策担当	<p>申し訳ありません。こちら9,000枚です。</p>
村田委員	<p>9,000枚ね。分かりました。</p>
横山会長	<p>他、ご意見ございますか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p>それでは、外部評価につきましては、部局同様に、今後の部分も含めまして、29年度は数字的には下回っていますが、配った方並びに受け取った方には、それなりの効果があったと外部評価もさせていただきたいと思えます。次12を、お願いいたします。</p> <p>続いて「<b>広域連携交流推進事業</b>」です。こちらの事業内容は、オホーツク15町村と東京23区（江東区）の都市部との連携により、交流人口の増加を推進するといったことや、オホーツク地域が一体となって、イメージ戦略を推進することにより、交流人口の増加や物産交流へとつなげていくといった事業です。29年度の実績額は556,000円、指標は連携事業取組件数2件としておりまして、実績値も2件となっており、指標値を達成し事業効果があったとしております。理由としまして、29年度は江東区とオホーツク管内15町村が交流連携事業として、江東区での環境フェア出展、江東区職員のオホーツク管内視察研修を行い、今後の継続と推進について協議を行っております。また、オホーツクのイメージ発信事業として、「オホーツクール」キャンペーンを行い、お笑い芸人の村本氏を起用し、様々な角度からオホーツクの情報を発信しております。今後の方針としましては、管内市町村と連携し、更なる展開を図るということで、事業の継続としております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>何かご意見ございますか。よろしいですか。はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、外部評価につきましても、部局同様、①達成して事業効果があったとさせていただきたいと思えます。それでは、13番お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>次に「<b>元気な起業家応援事業</b>」ということで、こちらの内容は、起業・創業に必要な経費の支援と空き店舗家賃補助を行っております。上限額は合わせて100万円の限度額となっております。29年度の実績額は、2,000,000円、指標は、起業・創業支援件数となっており、3件を設定しております。実績値は1件ですので、指標値を下回ったものの事業効果があったとしております。評価理由につきましては、起業件数は1件であったものの相談件数は10件あり、翌年度以降の起業に向けて進行中ということですので、効果はあったとしております。今後の方針は、雇用の創出により地域経済の活性化が図られるため事業の継続としております。以上です。</p>
横山会長	<p>これについて何かご意見等ございますか。はい。</p>
山野寺委員	<p>はい。卸業1件で雇用の創出があったと言ったのですが、何人くらい雇っているのか。</p>
長尾政策担当	<p>何人かまでは分からないのですが、食料品の卸業ということで、元々町内の方ということまではお話を聞いているのですが、何人従業員がいるかということは聞いていないので、確認しておきます。</p>
横山会長	<p>久保さんの企業だとすると、本人と事務員1人だけですね。だから、事務員1名の雇用があるというだけですね。 後、ご意見何かございませんか。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p>それでは、外部評価につきましては、今現在、昨年10件があって、今、継続中という部分もありますので、少なかれ1件は開業させていただいたという部分で一応数字的には下回りましたが、事業効果があったとさせていただきますと思います。それでは、14番お願いします。</p> <p>はい。「<b>中小企業利子補給等制度のうち新規起業家融資制度</b>」ですが、こちらは、起業する方の支援として、運転資金2,000万円、設備資金3,000万円以内の融資を実施し、また、利子補給20%、保証料100%を補助する事業となっております。実績額は、4,000,000円、指標が、融資件数2件となっております。29年度の実績は1件となっております。こちらの事業効果としまして、指標値を下回ったものの事業効果があったとしております。理由につきましては、融資件数は1件であったものの、当該制度を維持することにより新規起業への後押しが図られると考えるとしております。今後の方針ですが、制度の継続により起業・創業支援を図るということで、事業の継続としております。以上です。</p>
横山会長	<p>何かご意見等ございますか。</p> <p>意見が無い様ですので、外部評価につきましても、⑤と同様に数字的には下回りましたが、受け取り側につきましては非常に効果があったということで②にさせていただきますと思います。それでは、次のページに入らせていただきます。15番お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>がんばる商店街応援事業</b>」ということで、こちらは店舗リフォームのための事業となっております。上限額は100万円で、29年度実績額は、15,231,000円、指標は、リフォーム件数15件と設定しております。29年度の実績が、20件となっております。事業効果は、指標値を達成し事業効果があったとしておりまして、店舗のイメージアップにより、商店街における集客数の増加が図られたとなっております。今後の方針につきましては、事業の継続としていて、理由として、商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られるためとしております。以上です。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。何かご意見等ありますか。</p> <p>意見が無いということで、目標値を上回りましたので、達成し事業効果があったと外部評価はさせていただきますと思います。16番お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>16番、「<b>商店街イベント事業</b>」ですが、商店街のイベントへの支援を事業内容としております。29年度の実績は、3,050,000円、指標を2つ立てておりまして、1つがポイントシール消費枚数ということで、120,000枚、もう1つが、抽選会来場者数1,500人としておりまして、実績値としまして、①が152,200枚、②が1,649人、こちら共に指標値を達成し事業効果があったとしております。理由としまして、両イベントとも多くの町民が参加し、販売促進へと繋がったということで、評価理由となっております。今後の方針ということで、商店街の活性化により、商工業者の所得向上が図られるため、事業の継続としております。以上です。</p>
横山会長	<p>ご意見等ございますか。ありがとうございます。</p> <p>意見は無いということで、外部評価につきましても、目標を達成し、</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	<p>事業効果があったとさせていただきたいと思います。それでは続いて、基本戦略2の方に移らせていただきます。説明をお願いいたします。</p> <p>それでは1番目、「<b>移住促進事業</b>」についてですが、1番目、移住促進のPR、首都圏で開催される移住促進イベントの参加経費、2番目として、「ちょっと暮らし」のための施設整備となっております。29年度の実績額が、約868,000円、指標値につきましては、移住体験者8組を設定しておりまして、29年度の実績値は、13組となっております。この13組の内3件はグリーンビレッジでの体験者となっております。事業効果としまして、指標値を達成し事業効果があったとなっております。この事業につきましては、最終的に移住が目的ですので、「北海道移住希望者等マッチング事業」を行い、この体験者1名が、30年2月に美幌町へ移住したという実績となっております。実績値の内容は⑧欄の通りとなっております。今後は、移住体験住宅の魅力を高めて更なる交流人口の増加を目指し、一方で仕事とマッチングさせた本気の移住者の獲得を目指すということで、事業の継続を方針としております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ございますか。</p> <p>意見は無いということで、外部評価につきましても、目標値を達成ということで、事業効果がありましたという形にさせていただきたいと思っております。次お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>空き家対策</b>」ということで、適切に管理が行われていない空き家が防災・衛生等の生活環境に影響を及ぼすため、空き家の発生抑制や危険な空き家の解消を促すということで、H29年度は調査の段階となっておりますので、実績等は空欄になっておりますが、情報提供という形で載せさせていただきました。平成29年度は、調査対象の空き家の抽出、抽出した空き家の外観目視による確認を行っております。調査した空き家は、568件となっております。また、調査後には、所有者等へ空き家の使用状況や管理状況、今後の活用状況等の意向を確認するアンケート調査も実施しております。また、この現地調査等を踏まえ、平成30年度には空家対策協議会を設置するとともに空家等対策計画を策定し、総合的かつ計画的な対策の推進を図って参ります。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。それでは、続いて6番目お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>政府関係機関の誘致</b>」です。こちらは、国が掲げる総合戦略の1つとなっており、東京に集中している官公庁を地方へ移転するにあたり、美幌町への誘致を推進するというものですが、予算は伴っておりません。指標として、政府関係機関誘致数1機関となっております。何とか平成32年3月までには行いたいと考えておりますが、実績はありません。効果も指標値を下回ったものの事業効果があったということで、評価理由につきましては、政府関係機関の移転要望については、美幌駐屯地の維持について陳情を続けており、現在のところ現状維持を保っているという状況でございます。この誘致というのは、相当ハードルが高いものでして、美幌駐屯地の維持は勿論、その他にも何とか</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>誘致をということで考えております。今後の方針として、自衛隊関係機関を中心に、陳情・要望活動等を引き続き行うということで、事業の継続を方針としております。以上でございます。</p> <p>はい。何かご意見等ございますか。</p> <p>実質、国の方からの意向的なものが現状の段階では無いということで、現実、国の機関に対しての維持に向けて、奮闘しているということでございますので、確かに数字的には0でございますが、現実的にはそれらの陳情・要望活動の部分につきましての効果はあったという形に、外部有識者の評価とさせていただきたいと思っておりますけど、よろしいでしょうか。</p>
広島総務部長	<p>申し訳ないです。振興局さんに確認をしたいのですが、自衛隊を含むという形でやって、駐屯地があって、新たな駐屯地ということはないは多分無いと思うので、その改変をどうするかということで、機関の誘致ではないと思うのですよね、自衛隊の関係は。当初、予定していた農林業関係の中央省庁の出先機関を持って来るということで、27年の策定時には考えていた。現実的には、そのことは国を含めても、全然推進しないみたい形になっているので、これを、例えば計画から落とすとか、そういうことは出来ないのでしょうか。現実的には取り組みようが無いと思っている。自衛隊は、また別なもので、政府関係機関ではないと思っているので、それから行くと、27年観光省のが、京都に移転した1つぐらいしか聞いていないので、それから行くと、この取り組みは、31年までの取り組みの中では、現実的にうちの自治体としては手を出せないだろうと思って、毎年これが出て来るので、計画から削除するのは構わないのでしょうか。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 谷主査	<p>それは構わないです。改定の際にちゃんとした理由があるのであれば。北海道もそういう風に回答しておりますので。</p>
広島総務部長	<p>そうですか。これ、例えば、年度の途中でもよろしいのですか。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 谷主査	<p>町のタイミングで改定する際に、「こういった理由でこれらは改定します」ということで。</p>
広島総務部長	<p>分かりました。ありがとうございます。 そういう方向で、検討させていただきたいと思っております。</p>
横山会長	<p>それでは、次のページ、行かさせていただきます。基本戦略3の2です。よろしくお願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>ピンクの婚姻届事業</b>」ということで、事業内容が、婚姻届を出すカップルに、ピンク色の婚姻届を美幌町産材で作られた木製フォルダに入れてお渡しするといった事業です。実績額につきましては、324,000円、指標につきましては、婚姻届出数100件を設定しております。これに対し29年度の実績値は、69件となっており、事業効果は指標値を下回ったものの事業効果があったとしております。評価理由につきましては、婚姻数の減少のため指標値を下回っているということですが、対象者には大変喜ばれており、好評を得ているため、効果は高いと</p>



発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>いう評価になっております。今後の方針としましては、今後もPR等を行い、事業を継続しますということになっております。以上でございます。</p> <p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ございますか。</p> <p>これも、先程もありましたように、指標値が100という部分があるのですが、非常に微妙なところでございまして、69件ありまして、その69件に対しては全て効果があった、喜んでいただいたという部分があるかと思っておりますので、外部評価につきましても、⑤同様に、数字的には確かに下回っていますが、効果があったという形の判断でよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは、次に4番お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>4番目、「妊婦一般健康診査等交通費補助事業」です。こちらの事業内容につきましては、妊娠に係る健康診査及び出産のため町外の医療機関に通院する交通費を助成するというもので、15回を上限に1回1,080円の補助をしております。こちら町外の医療機関となっておりますが、北見市か網走市ということになっております。29年度の実績額としまして、約1,452,000円、指標につきましては、妊婦一般健康診査等交通費補助人数ということで111人を設定してございまして、これに対する実績値が116人となっております。そのため効果としまして、指標値を達成し事業効果があったとしております。この理由としまして、出産に係る費用を助成することにより、妊産婦家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援が図られたということになっております。今後の方針につきましては、事業の継続。理由としまして、引き続き補助対象者に対し制度の周知をすることで、今まで通り対象者全てが申請するよう事業を進めて行くとしております。以上です。</p>
横山会長	<p>はい。ありがとうございます。何か皆さんの方からご意見等ございますか。副会長無いですか。</p>
水島副会長	<p>この制度は、私が「あったらいいな」と思って出来た制度だったので、継続して行っていただけたらと思っております。</p>
横山会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>対象者は全員、申請しているのですか。仮に130人居て、その中の116人なのか、116人が居て、100%の116人が申請したのか、その辺の数字的な問題は分からないですか。</p>
広島総務部長	<p>多分、15回の検診の申請が来るので、その時に説明をして、1回、540円×2、JR料金往復分で。後は回数で行ったやつなので、全部申請はしていると思います。</p>
横山会長	<p>分かりました。</p> <p>それでは、外部評価につきましては部局同様に数字を達成し、事業効果があったとさせていただきたいと思っております。次、お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「産後1か月健康診査補助事業」について説明させていただきます。事業内容につきましては、母子の心身の健康の保持及び対</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
横山会長	<p>象となる家庭の経済的負担の軽減のため、産後1か月健康診査を受診するための費用及び受診に要する交通費を助成という内容になっております。29年度の実績額は、525,000円、指標は、産後1か月健康診査補助人数としまして、104人を設定しております。29年度の実績値は、105人ということで、指標値を達成し事業効果があったとしております。評価理由につきましては、産後1か月の健診に係る費用を助成することにより、対象家庭の経済的負担を軽減し、子育て支援が図られたとしております。今後の方針は、引き続き補助対象者に対し制度の周知をすることで、今までどおり対象者全てが申請するよう事業を進めていくということで、事業の継続としております。以上です。</p> <p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ございますか。はい、村田委員。</p>
村田委員	<p>4と全く同じだけど、「妊娠前の不妊治療への補助も含めて」って、ここに掛かっていいものなのか。何か違う気がするのだけど。</p>
横山会長	<p>今後の方針の理由のところですよね。</p>
村田委員	<p>そうです。</p>
広島総務部長	<p>これ多分、関係無いと思う。</p>
村田委員	<p>産後1か月検診のことなのに。</p>
広島総務部長	<p>はい、そうですね。</p>
村田委員	<p>別な言葉がここに入って来るのを、上と同じだから、コピーして作業上の何か手違いが入ったのかなと思うのだけど。その辺が分からないのですけど。</p>
広島総務部長	<p>これ多分、「引き続き以降」でよろしいかと思います。</p>
長尾政策担当	<p>そこは削除で良いですね。</p>
広島総務部長	<p>上の二行要らないな。別のものだよ。</p>
横山会長	<p>そうですね。産後の話ですからね。良いですね、副会長。</p>
広島総務部長	<p>不妊治療の補助は、30年度からなので。</p>
水島副会長	<p>そのPRも含めてここに書きたかったのかと思ったのですが。30年度からこれもやりますよというのを、今後の方針でここに29年度の反省というか、そういう実績のところに載せるのかと思ったのですけど。</p>
広島総務部長	<p>なるほど。でも事業の評価としてはちょっと違う事業に。</p>
横山会長	<p>そうですね。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
広島総務部長	<p>それが、30年度の計画で、新たに載って来る事業になると思うので、それはまた、別な事業として捉えた方が良いかと思います。</p>
横山会長	<p>他、よろしいですか。  それでは、評価につきましては、達成し事業効果があったとさせていただきます。それでは次、お願いします。</p>
長尾政策担当	<p>続きまして、「<b>医師確保対策事業</b>」について説明させていただきます。こちらにつきましては、民間の医師紹介サイト等を活用することで常勤医師の招聘を行い、医療の充実を図るというものでございます。29年度の実績額は、1,106,000円、指標は、常勤医師数13人と設定しており、29年度の実績値は10人としております。事業効果として、平成29年度に産婦人科、眼科の常勤医師の招聘は出来なかったが、平成30年4月に1名の招聘が出来たということで、指標値を下回ったものの事業効果があったと評価しております。今後の方針につきましては、事業の継続ということで、理由としまして、婦人科は30年4月から再開することとなったが、3月で1名退職した外科及び眼科の常勤化については町民のニーズがあるため、引き続き医師の招聘に努めるとしてしております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ございますか。  それでは意見が無いということでございますので、外部評価につきましても同様に、指標値は下回りましたが事業効果はあったとさせていただきます。次、9番お願いいたします。</p>
長尾政策担当	<p>9番、「<b>エンゼルサポート120事業</b>」ということで、こちらは、乳幼児を扶養している子育て世帯の保護者に対して、美幌町指定ごみ袋を支給するといった事業です。29年度の実績額は、約103,000円、指標値は、エンゼルサポート120事業支給者数132人を設定しておりまして、29年度の実績値は、99人となっております。こちらは、指標値を下回ったものの事業効果があった、見込めるとなっております。評価理由につきましては、乳幼児を扶養している子育て世帯の保護者に対して、美幌町指定ごみ袋を支給することにより、子育ての支援が図られました。また、おむつの無料回収を開始したことにより、年度途中(H30.1月)で当事業を終了したため指標値を下回っております。今後の方針ということですが、事業を終了しておりますので、「予定通り事業終了」となっております。以上でございます。</p>
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。何かご意見等ございますか。よろしいですか。  それでは、外部評価につきましても、⑤同様に下回った理由につきましては、記載の通りでありますので、形上は下回っていますが、効果があったとさせていただきます。それでは、冒頭予定しておりました、9番「エンゼルサポート120事業」までは終了させていただきました。この後、次第にも3があるのですが、この評価につきましては、当初の予定通りこれで区切ってもよろしいでしょうか。  はい、皆さんも、大変お疲れだと思いますので、評価の関係につきましては、以上で終了します。</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
長尾政策担当	質問のあったところを、説明を補足でしてよろしいでしょうか。
横山会長	はい、どうぞ、お願いいたします。
長尾政策担当	基本戦略3の「妊婦一般健康診査等交通費補助事業」とその下「産後1か月健康診査補助事業」、29年度の実績116人と105人ですけど、こちらは100%ということで回答が来ております。こちら声掛け等は漏れなくやっておりますということです。
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、予定通り評価の分につきましては、これで終わらせていただきます。</p> <p>この後につきましては、次回、日程調整をさせていただく部分がありますので、改めてご案内差し上げますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>次第の3、「基本戦略ごとの数値目標・KPIについて」ということで、事務局より説明よろしくお願ひいたします。</p> <p><b>次第3</b> <b><u>基本戦略ごとの数値目標・KPIについて</u></b></p>
長尾政策担当	こちらにつきましては、平成29年度の検証を全て終えてから説明させていただきたいと思ひますので、次回の会議において説明をさせていただきたいと思ひます。そのため、次回の会議では、この実施結果と併せて使用しますので、書類番号3の資料につきましては次回、お忘れなく持参していただきますようお願ひいたします。以上でございます。
横山会長	<p>はい、ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第の4「その他」、事務局の方から何かありましたら、お願ひいたします。</p> <p><b>次第4</b> <b><u>その他</u></b></p>
長尾政策担当	「その他」ということで、次回の会議日程について説明をします。事前に皆さまに日程表をお渡ししていただきましたので、集約後に文書でお伝えしたいと考えております。時間は、本日と同じ14時開催でお願いしたいと考えております。今日、出来た方、私に提出していただければと思ひますので、よろしくお願ひいたします。一応、7月末から8月末までの1か月間ということで日程調整表出していますので、その期間内で1番出席率が多い所で調整したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。以上です。
横山会長	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>それでは、終わる前に何か皆さんの方から、今までの部分につきまして何か聞き忘れていたことだとか、次回に向けて「これ、どうなんだ」というのが何かありましたら、ご意見を賜りたいと思ひますが、何かあ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
水島副会長	<p>りますか。</p> <p>1つだけ質問しても良いですか。</p> <p>健康推進の妊婦検診と、1か月検診と事業をやっているのですが、その下に医師の招聘をしていて、ここで産婦人科の医師が来た場合には、上2つというのは無くなってしまうということですかね。</p>
広島総務部長	<p>今、町内で産める施設が無いということで、ほとんどの方が北見、網走に通院をされているということで、やっている制度なので、例えば、町立病院の方に産科の先生が来て、そういう体制が整うということになれば、おそらく、美幌の町立病院を使ってくださいということになるかと思えます。</p>
水島副会長	<p>この2つの事業は無くなるということ。</p>
広島総務部長	<p>はい。</p>
水島副会長	<p>分かりました。ありがとうございます。すみません。</p>
横山会長	<p>他、よろしいですか。</p> <p>それでは、今日、オブザーバーで出席いただいております、代表して谷主査の方から何かありましたら。感想でも何でもよろしいので。</p>
オホーツク総合振興局 地域政策課 谷主査	<p>私の方からは、個々の事業ではなくて、全体の感想ですけど、今、振興局の方で、先週までに18市町村、うちの副局長と一緒に回らせていただいて、各町の総合戦略の課題等色々聴取しているところですけど、やはり皆さん同じこと言っておりまして、ゴールが移住定住で担い手不足を解消して、人口を減るのを出来るだけ抑えるというところで、皆さん同じですけど、美幌町の場合だと、2040年に11,941人になると人口ビジョンで示されているので、こうした総合戦略をしっかりとやることでそこから2,500人程度抑制して14,500人に何とかもたせるという方向ですけど、やはりどこの町も人の獲得が競争になっていますので、得意なところで勝負しないと勝ち目が無い状況になっています。基幹産業は第一次産業なので、こちらをしっかりと担い手を確保して更に成長させていく必要があるのではないかと私は考えております。どこの町でもそうですけど、アピールが下手といいますか、町の魅力を知ってもらう方法が不足しているところばかりで、美幌町も大変魅力的な資源もありますし、子育ても手厚いサポート、子育てで色んな補助をしているのですが、そういったものを、もっと知ってもらわないと、良さが分からないので、町の人は知っていても、町の外から人を呼び込むことが出来ないというところで、他の町もどこも同じ様な課題を抱えているところです。やはりそう言ったところは町単独で出来る町と無理な部分もありますので連携して、今、オホーツククールということで、振興局、旗振り役でやっておりますけど、これも試行錯誤ですが電通に委託をして流行に乗った形でロコソラーレを使って町の首都圏で、電車で広告一式一斉に出すとか、ポスターを作るとか顔パネルを作ってアピールをするとか色々やっているのですが、そういった事業を一緒にして、やっていければと考えております。どこの自治体もそうですけど、得意なところでしっかり稼げるように、農業などやって、他の自治体と同様に色々サポートやっ</p>

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
	<p>て来ていますので、そこを教育ですとか医療ですとか、そういった基盤をしっかりと整えて行かなければいけないと思います。そういったものに対し、総合戦略がしっかりと目標を管理して進捗して2040年まだまだ先ですけども、今から頑張るって行かないといけないと感じているところです。以上です。</p>
横山会長	<p>ありがとうございました。それでは皆さんから貴重なご意見を賜りまして、また改めて、2回目のご案内を差し上げたいと思いますので、よろしく願いいたします。それでは、最後の締めを水島副会長、よろしくお願い致します。</p>
水島副会長	<p>美幌町の良いところを沢山知っていただくために、先日はやる予定だった和牛まつりが中止になってしまって、ちょっと残念だったのですが、夏祭りまた秋祭り色々イベントもあると思いますので、そういう所を使って、美幌町の良いところをアピール出来たら良いのではないかと思います。また、そういうお祭りだとかイベント出来るというのは、「安心安全で、災害の少ない町だからかな」と最近のニュースを見て思っているところであります。住みやすい町ということも含めてPR出来たら良いのではないかと思います。以上です。</p> <p>簡単ではありますが、終わりにしたいと思います。</p>
横山会長	<p>どうもありがとうございました。</p>

了